

IV 教職員の意識改革と資質の向上

成果指標：①「先生は、教え方にいろいろ工夫している」と回答した児童生徒の割合（学校評価資料「児童生徒アンケート」）

②学力調査における前回平均正答率（全国差）に対する伸び率

1 教職員研修の充実

項目 (実践事項)		目指すべき姿	推進内容
			平成25年度
学校力アップ事業（再掲） 【2233】	(P-6)		
教職員のための各種講座及び研修会・研究活動 【2233】	教職員の専門的知識の習得や実践的指導力の向上、社会の変化に対応した指導力を養うことをめざします。 研修参加目標数4,550人	・各種研修の実施 「管理職研修」「経年研修」「専門研修」「教科等研修」「教育課題研修」「啓発研修」	
教員の研修事業	各種研修会・研究発表会をとおして、教員の授業力向上を図ります。	・管理職研修会 (校長1回・教頭1回) ・教科別研修会・研究発表会	
授業力向上(カリキュラム)支援センターの充実(再掲) 【2233】	(P-7)		



教科等研修講座 音楽科 (合奏)



教科等研修講座 体育科 (体ほぐし)



理科実験講座 (エネルギーの変換)



教科等研修講座 図工・美術科

(絵の具の混色指導法)

そうだ、カリセンへ行ってみよう！

来月、校内研究授業をするんだけど、なかなかアイデアが思い浮かばないなあ。そうだ、カリセンに行ってみよう！

- 図書や雑誌が充実しています。教育図書は約7250冊、教育雑誌は15種類。貸し出しもできます。
- 学習指導案が各学年・教科毎に整理されています。(約3600点)
- 経験豊富なコンサルタントが常駐しています。

授業づくりのヒントがいっぱい！

気分を変えて勉強したいなあ。そうだ、カリセンに行ってみよう！

- 平日夜21時まで、土曜は9時から17時まで開いています。
- 「カリセンミニ講座」「臨時講師等対象セミナー」など夜間の講座も開催しています。

自分の力を伸ばしていこう！

どこかグループで活動ができる場所はないかなあ。そうだ、カリセンに行ってみよう！

- 様々な人数に対応できるスペースを用意しています。
- パソコンなど研修に必要な機器を貸し出します。
- プリンタ、コピー機なども使えます。
- 「カリセン自主研修グループ」など夜間や土曜日に活動しているグループもあります。

グループで活動してみよう！

行事の写真を玄関前に大きく掲示したいなあ。そうだ、カリセンに行ってみよう！

- B0サイズ(横書き大)まで印刷できる大判カラープリンタがあります。
- 一度に100枚までコピー可能なDVD複製機(CDも対応)があります。
- 今後、活用が進んでいくデジタル教科書や電子黒板の研修ができます。

市内唯一の機器を使って子どもにインパクトを！

市内在唯一の機器を使って子どもにインパクトを！

通称: **カリセン** 授業力向上(カリキュラム)支援センター
 伊丹市立総合教育センター5階、3階
 所在地: 伊丹市千歳1-1 TEL: (072)780-2485
 開館時間 平日: 13時~21時、土曜日: 9時~17時

※部屋の予約や図書・DVD等の検索は
 DataWeb(<http://dataweb.itami.ed.jp/>) から行えます。

2 教職員の意識改革

項目 (実践事項)	目指すべき姿	推進内容
		平成25年度
<p>サービス規律の確保</p>	<p>教職員研修資料を活用し、体罰の禁止を徹底するとともに、教育公務員としての自覚や倫理観・使命感を高め、児童生徒や保護者・地域から信頼される学校風土を醸成します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 校内研修 5回以上 初任者研修・ミドルリーダー研修での研修 年間2回
<p>学校業務の改善</p>	<ul style="list-style-type: none"> 県の学校業務改善実践事例集を参考に、学校業務の改善や効率化を推進し、教職員の児童生徒と向き合う時間の確保を図るための調査研究を推進します。 勤務環境を改善するとともに、教職員メンタルヘルスハンドブックや職場復帰トレーニング、プレ出勤制度を周知、活用することで、メンタルヘルスクエアに努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> 実践校の取り組み事例の普及と超過勤務時間を10%削減 ノー会議、ノー残業デー 全校園月2回以上 学校安全衛生協議会 年間2回開催 産業医による面接 年間2回以上実施

<p>学校組織マネジメントシステムの推進 【2233】</p>	<p>・ミドルリーダーの資質・能力の向上を図り、学校園運営に主体的に参画する人材を育成するため、学校組織マネジメントの研修を実施します。</p> <p>・教職員人事評価・育成システムを活用し教職員の教育活動への取組状況を適切に記録・評価し、指導・助言を通じて、教職員の能力開発と教育活動の充実を図り、学校組織の活性化を進めます。</p>	<p>・ミドルリーダー養成研修において実施 年間2回</p> <p>・管理職と教職員の面談を実施 年間2回</p>
-------------------------------------	--	---

教職員研修資料

○兵庫県教育委員会教職員課 HP 掲載資料

URL・<http://www.hyogo-c.ed.jp/~kyoshokuin-bo/>

- ・「教育に携わるあなたのために」
- ・「NO!体罰」
- ・「学校業務改善実践事例集」
- ・「教職員メンタルヘルス通信」
- ・「セクシャルハラスメントのない学校に」
- ・「パワー・ハラスメントの防止に向けた取扱指針」
- ・「学校危機管理ガイドライン」

○伊丹市教育委員会データウェブ掲載資料

URL・<http://dataweb.itami.ed.jp/tsuchi.html>

- ・ 服務関連通知

教職員人事評価・育成システム

教職員が職務を通じて自己の力量を高め、持てる能力を十分に発揮していくためには、教職員と管理職がお互いに意思疎通を深め、課題や果たすべき役割を共有化し、教職員が主体的に教育活動を実践するとともに、管理職が的確に支援を行っていく必要があります。

教職員人事評価・育成システムは、教職員の教育活動への取組状況を適切に記録・評価し、その結果に基づいて指導・助言を行うことなどを通じて、教職員の能力開発と教育活動の充実を図り、学校組織の活性化に資することを目的とします。

(兵庫県教育委員会)